

目標達成計画

作成日: 令和 6年 2月 10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		新型コロナウイルス感染症の5類移行後も、感染症予防の為、ご家族との面会の制限、また、地域との交流が少ない。	ご利用者、ご家族、地域の方との信頼関係を築くことができる。	ご家族には、SNSを利用し、定期的に動画や写真を送信し、ご利用者の状況をお伝えする。また、身体状態等の変化時には、連絡をこまめに電話報告を行う。ご家族、地域の方には、定期的に広報誌を送付する。運営推進会議参加者との情報交換を行う。感染予防に留意し地域参加型行事企画を実施する。	12ヶ月
2		外出の機会が少なく、施設内での生活が多く、身体機能の低下による転倒等がある。(令和5年度、2件の転倒骨折事故がある。)	身体機能を維持しながら、安全に過ごす事ができる。	午前、午後でのレクリエーションでは、身体機能の維持に繋がるよう、運動(体操)を実施。施設周囲の散歩を行う。感染予防をしながら、外出支援を計画し、行う。施設の畑や園芸など行事を企画実施する。身体状況に応じた福祉用具の準備を行う。	12ヶ月
3		職員間での情報共有や連携不足により、ご利用者の不安や不穩に繋がることがあった。また、このことにより事故・インシデントが起きることもあった。	職員、ご利用者への思いやりの気持ちを大切に、対応する。	外部研修(WEB研修含む)に参加する。毎月、認知症ケア等の勉強会を行う。毎月、ユニット会議にて、個別ケアの見直し、接遇目標の振り返りを行う。毎月のモニタリングにて、状態変化等がある時には速やかにプラン変更を行う。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。